

重源上人の遺構

東大寺の復興

東大寺境内史跡整備計画室
研究員 中川二美

1. 東大寺の歴史（略史）

- 天平十五年（743） 大仏造立の詔
- 天平十七年（745）頃 東大寺創建
- 治承四年（1180） 南都焼討
- 重源上人らによる復興
- 永禄十年（1567） 松永久秀の焼討
- 公慶上人らによる復興

2. 重源上人と東大寺の復興

重源上人の七別所

- ・東大寺別所 → 2022・2023年度に一部発掘調査
- ・高野新別所（高野山）
- ・渡辺別所（難波津）
- ・播磨別所（兵庫）
- ・備中別所（岡山）
- ・周防別所（山口）
- ・伊賀別所（三重）

3. 万富瓦窯産の瓦と東大寺の建物

万富瓦窯の瓦の使用が確認された東大寺境内の建物

- ・大仏殿および大仏殿院（中門・東西楽門・回廊）
- ・南大門
- ・鐘楼

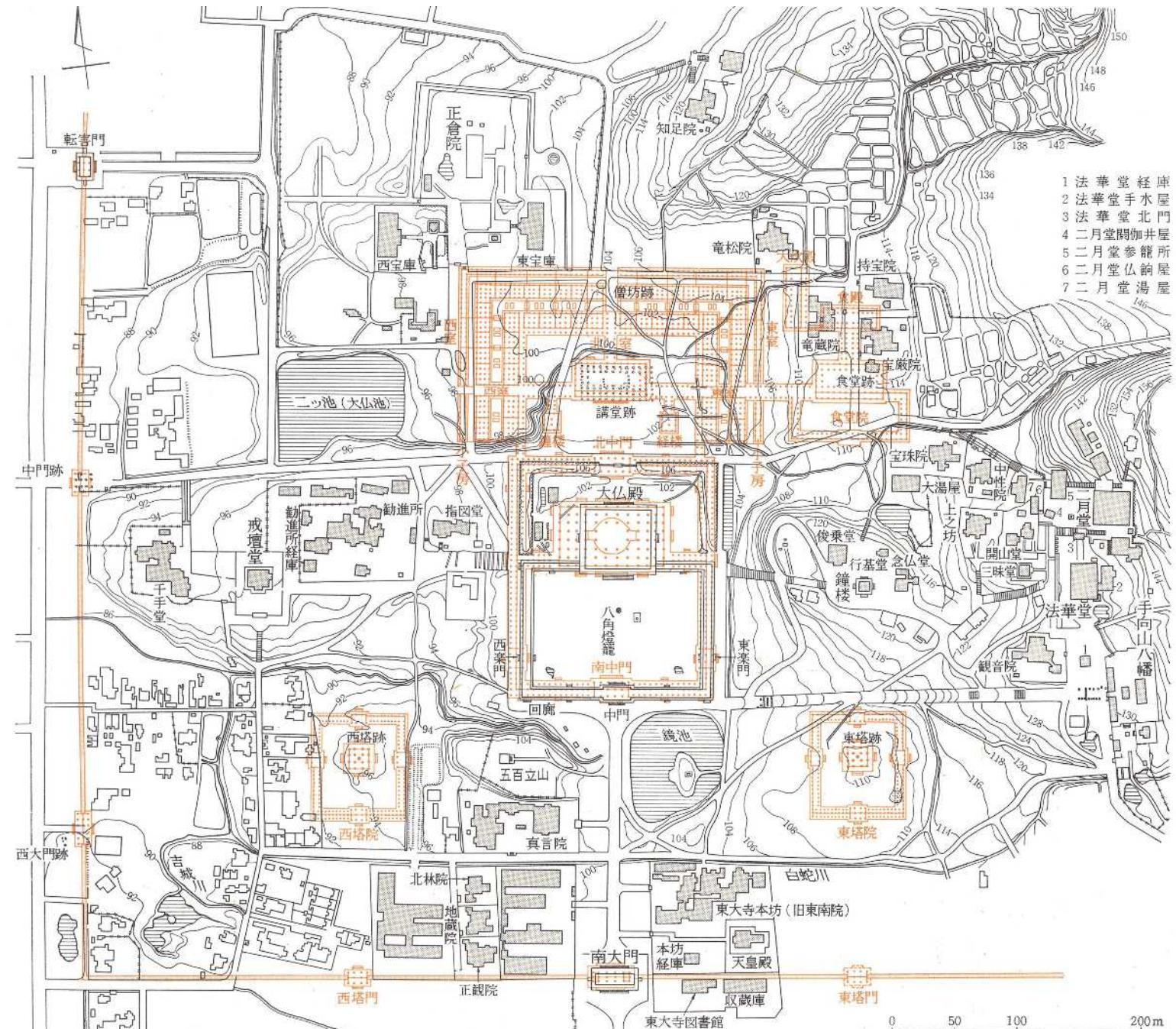


図1 創建期の東大寺伽藍配置想定復元図（奈良六大次大觀刊行会編 2000『東大寺』岩波書店より）

表1 東大寺境内の建物復興と大勧進

年	東大寺境内の建物等の復興	東大寺を取り巻く出来事
1180		南都 焼討
1181		莊園・所領没収等 高倉天皇崩御 平清盛死去
1182		東大寺・興福寺への処分 すべて撤回
1184		源頼朝:伊賀鞆田荘を返付
1185	大佛修理完了 開眼供養	
1186		周防国を造営料とし、重源に経営を任す
1188	八幡宮の造営	
1189		重源、大仏殿造営が困難なため、 兼実に勧進辞退を申し出る
1190	東南院上棟 大仏殿 上棟	陳和卿:院より伊賀国諸荘を給う 浄土堂へ寄進
1192		後白河法皇崩御
1193		備前国を造営料として付す
1195	大仏殿中門上棟 大仏殿落慶供養	この頃、 淨土堂創建
1196	大仏殿脇侍造立 四天王像造立	
1197	八幡宮上棟 戒壇院金堂建立 大湯屋の鐵湯船を造る	
1198	念仏堂建立 大湯屋建立	
1199	南大門上棟 法華堂礼堂新造力?	
1200	尊勝院造り終わる	この頃、 開山堂再興
1201	八幡宮僧形八幡神像 <快慶>開眼供養	僧綱らは講堂・三面僧坊を 重源は塔の造営を望む 伊賀国東大寺封戸停止、 興福寺僧房造営料にあてる
1202	阿彌陀立像造り始める <快慶>	
1203	南大門仁王像造り始める 東大寺總供養	
1204	東塔造営始め	
1206		重源上人没
1207		
1208	東塔立柱	この頃、 鐘樓 建立
1209		
1210		
1215		栄西上人没
1216	東塔造営再開	
1219	国分門(西大門)供養	
1223	東塔の覆鉢・九輪をあげる	
1227	東塔再建	
1236	講堂立柱	
1237	講堂上棟 念仏堂	この頃、 念仏堂創建



図2 記録に残る南都焼討の際の焼失伽藍